

令和 3 年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

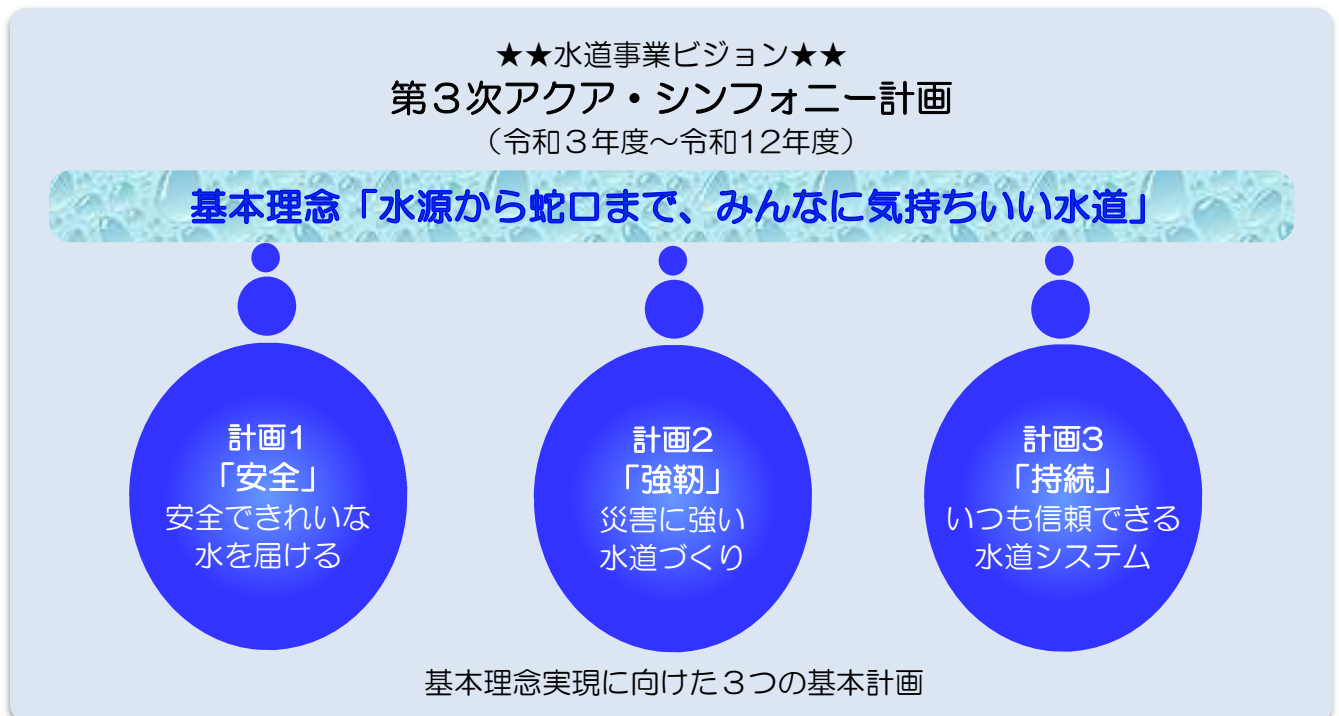
決 算 説 明 資 料

— 目 次 —

1 第3次アクア・シンフォニー計画事業報告	-----	1
2 決算書附属資料		
(1) 業務の状況	-----	5
(2) 収益的収支予算決算対比表(消費税込み)	-----	6
(3) 資本的収支予算決算対比表(消費税込み)	-----	7
(4) 財務諸表4表(①損益計算書、②剰余金計算書)	-----	8
財務諸表4表(③貸借対照表、④キャッシュ・フロー計算書)	-----	9

1 第3次アクア・シンフォニー計画事業報告

令和3年度は、基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて策定された水道事業ビジョン「第3次アクア・シンフォニー計画」のスタートの年として、第2次水道施設整備事業や将来の事業環境に対応するための新規施策など、各事業の着実な推進に取り組みました。



計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、検査の正確性や分析技術の向上を図りました。
 - ・適正な水質管理 … 1,576万円
(一部農薬項目等の水質検査業務委託、福谷水源滅菌設備更新工事他)
 - ・水質検査精度管理 … 2,171万円
(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)
2. 小規模貯水槽の管理者に対し、衛生管理の必要性のPRを継続しました。
 - ・小規模貯水槽水道の衛生管理PR
(小規模貯水槽(10m³以下)の衛生管理に関する情報をビラやホームページにより周知)
3. 施設場内への侵入防止や異物混入防止のため、施設警備委託による常時監視を継続しました。
 - ・施設警備委託 … 331万円
(水道施設警備業務委託、防犯灯設置工事他)

計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新しました。

・老朽管路の更新 … 16億7,557万円

(豊明市栄町大根地内配水管布設替工事その1始め29件 L=16,053m、
老朽管路更新に伴う設計委託1件)

2. 基幹管路や災害時に応急給水拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行いました。

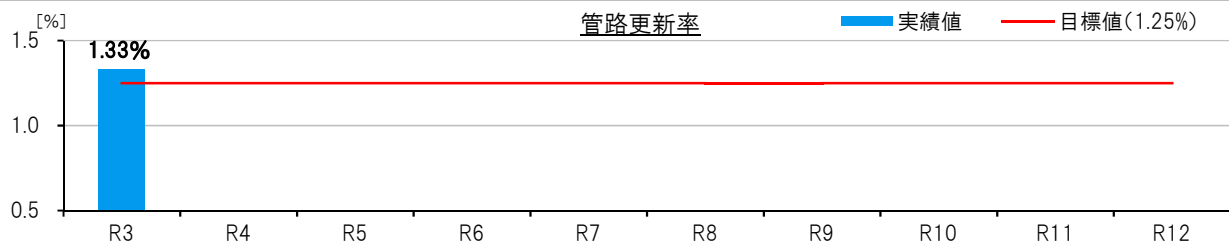
・基幹管路の耐震化 … 2億4,441万円

(横道グリーン線配水管布設替工事その15始め3件 L=910m、基幹管路耐震化に伴う設計委託2件)

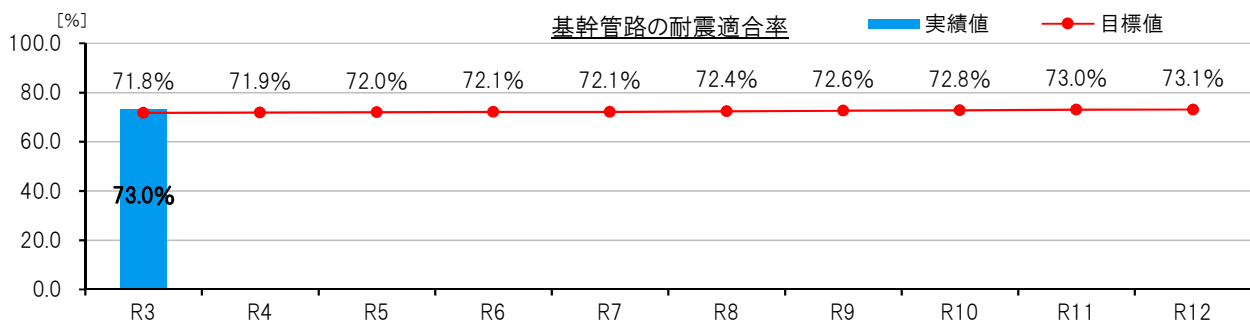
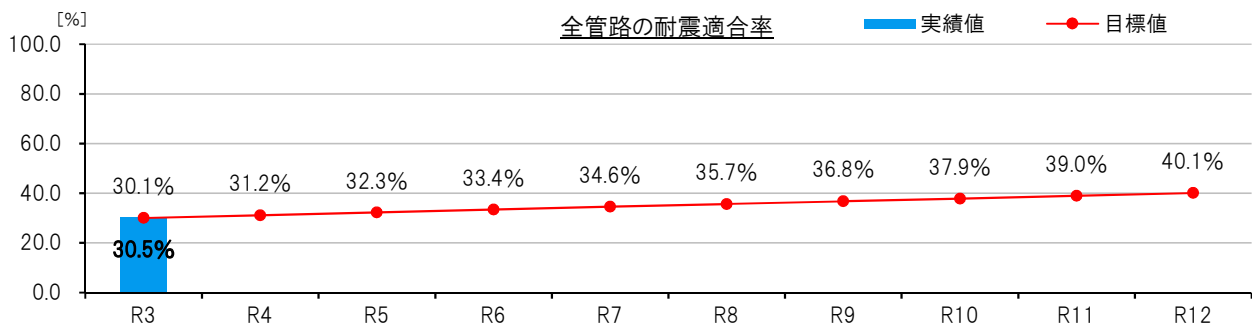
・重要給水施設管路の耐震化 … 6億3,703万円

(東郷町和合ヶ丘他地内配水管布設替工事始め5件 L=5,034m)

第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。



※耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K型継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。

※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

Ⅱ 水道施設のレベルアップ

(主な事業)

1. 水道施設を適切に維持管理するため、老朽化した施設を計画的に更新しました。
 - ・配水池のリフレッシュ …… 1億3,283万円（二村山配水場内面補修工事他）
 - ・遠方監視システムの適正管理 …… 1億6,932万円
(遠方監視設備更新工事、水道施設計装機器更新工事、電気計装設備点検業務委託他)
2. 漏水箇所の早期発見・早期修理のため漏水調査等を継続し、水道事故の未然防止に努めました。
 - ・漏水調査 …… 2,661万円（漏水調査業務委託他）
 - ・仕切弁等点検 …… 413万円（管路施設点検業務委託）
 - ・管洗浄等の実施 …… 1,771万円（既設管内調査業務委託、配水管内クリーニング工事他）
3. 効率的に配水管を整備するため、区画整理事業、下水道事業や道路改良事業と同調して配水管を更新しました。
 - ・区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 1億2,868万円
〔日進赤池箕ノ手土地区画整理内配水管布設工事その11始め6件 L=2,983m、
区画整理事業に伴う設計委託1件〕
 - ・公共工事と同調した配水管整備 …… 1億7,518万円
(みよし市福田町宮下地内配水管布設替工事始め10件 L=2,310m)

Ⅲ 危機管理対策の推進

(主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備しました。
 - ・災害用資機材の確保 …… 406万円
(非常用飲料水袋の購入、I P無線機賃借料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料他)

計画3 「持続」 いつも信頼できる水道システム

Ⅰ 水道水の安定供給

(主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行い、また自己水源を適切に維持管理するため、井戸清掃工事、濾材活性化工事等を実施しました。
 - ・県営水道からの受水 …… 23億9,790万円
(承認基本給水量 102,500m³/日、県営水道受水量 34,506,270m³)
 - ・自己水源の合理化 …… 1,851万円
(和合ヶ丘水源の井戸清掃工事、濾材活性化工事、取水ポンプ・送水ポンプ取替他)

Ⅱ お客様との連携の促進

（主な事業）

1. 給水システム保守等の業務委託を継続し、お客様サービスの向上と業務の効率化を図りました。
 - ・給水事務の迅速化 …… 252万円（給水システム保守業務委託）
 - ・配水補助管助成金制度の継続 …… 2,889万円（配水補助管助成金）
2. 新型コロナウイルス感染防止対策のため出前授業を中止しましたが、小学生を対象とした副読本の制作を継続して行いました。
 - ・水道学習の実施 …… 28万円（小学生を対象とした副読本の制作）
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する分かりやすい情報の提供に努めました。
 - ・広報広聴活動の充実 …… 527万円
 - （広報誌「ふれっしゅ水道」年間4回（4月、7月、10月、1月）550,652部発行）

Ⅲ 持続可能な水環境づくり

（主な事業）

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続しました。
 - ・太陽光発電設備、電気自動車の活用 …… 303万円（太陽光発電設備の年次点検業務委託他）
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに水の大切さへの理解を広めるため、「木曾の水」ボトル缶を製作しました。
 - ・「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 1,750万円
 - （整備面積 木曾川 …… 220.75㍏（木曾町始め6町村） 矢作川 …… 3.64㍏（豊田市大野瀬財産区））
 - ・水源地域との交流事業 …… 418万円（「木曾の水」ボトル缶の製作他）

Ⅳ 健全かつ安定した事業運営

（主な事業）

1. 自己財源の負担軽減を図るため、補助金制度を活用して財源の確保に努めました。
 - ・補助金制度の活用 …… 6,034万円（愛知県生活基盤施設耐震化等補助金）
2. 事業実施に必要な財源を確保するため、企業債の適正な借入れに努めました。
 - ・企業債の適正借入 …… 3億円（利率が0.8%の公的資金を借入れ）

Ⅴ 人材育成・組織力の強化

（主な事業）

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、オンライン講座の受講など研修内容を改善し充実させました。
 - ・職員教育の充実 …… 141万円（内部・外部研修の実施）

2 決算書附属資料

(1) 業務の状況

① 業務量に関する事項 〔決算書P22〕

区 分 \ 年 度	令和3年度	令 和 3 年 度 予 定 (予算)			令 和 2 年 度 実 績 対 比			備 考
	実績a	数値b	増減a－b	増減率	数値c	増減a－c	増減率	
年 度 末 給 水 人 口 (人)	326,253	328,200	△ 1,947	△ 0.6%	326,234	19	0.0%	主に、日進市で483人の増加、豊明市で501人の減少となった。
年 度 末 給 水 戸 数 (戸)	137,132	136,200	932	0.7%	136,233	899	0.7%	主に、日進市で464戸、長久手市で270戸の増加となった。
年 間 総 配 水 量 (m ³)	35,099,975	35,588,000	△ 488,025	△ 1.4%	35,325,746	△ 225,771	△ 0.6%	県営水道からの受水量と自己水源取水量(深井戸)の合計水量
うち 県 営 水 道 受 水 量 (m ³)	34,506,270	35,034,000	△ 527,730	△ 1.5%	34,754,233	△ 247,963	△ 0.7%	県営水道からの受水量(承認基本給水量102,500m ³ /日)
1 日 最 大 配 水 量 (m ³)	103,473	－	－	－	103,072	401	0.4%	年間の1日配水量実績のうち最大のもの
1 日 平 均 配 水 量 (m ³)	96,164	97,501	△ 1,337	△ 1.4%	96,518	△ 354	△ 0.4%	年間配水量を1日当たりに換算したもの
1 人 1 日 平 均 配 水 量 (ℓ/人日)	294.8	297.1	△ 2.3	△ 0.8%	295.9	△ 1.1	△ 0.4%	1日平均配水量を給水人口1人当たりに換算したもの
有 収 水 量 (m ³)	33,602,285	33,596,000	6,285	0.0%	33,701,520	△ 99,235	△ 0.3%	給水料金徴収の対象となった販売水量
有 収 率 (%)	95.73	94.40	1.33	1.4%	95.40	0.33	0.3%	年間総配水量と有収水量との比率 【参考】令和2年度愛知県平均 93.58%
供 給 単 価 (円/m ³)	176.44	175.70	0.74	0.4%	171.70	4.74	2.8%	給水料金1m ³ 当たりの平均単価
給 水 原 価 (円/m ³)	155.39	158.19	△ 2.80	△ 1.8%	150.44	4.95	3.3%	水道水1m ³ を供給するために必要とする経費
1 人 1 日 平 均 使 用 量 (ℓ/人日)	282.18	280.45	1.73	0.6%	282.25	△ 0.07	△ 0.0%	年間の有収水量を1人1日当たりに換算したもの

(△は減を示す)

② 地区別給水量及び給水料金に関する事項 〔決算書P22〕

区分 \ 市町名	年度末給水人口(人)			年度末給水戸数(戸)			有収水量(m ³)			給水料金(税抜き)(円)			備 考
	令和3年度	令和2年度	増減率	令和3年度	令和2年度	増減率	令和3年度	令和2年度	増減率	令和3年度	令和2年度	増減率	
豊 明 市	68,281	68,782	△ 0.7%	30,455	30,478	△ 0.1%	6,979,674	7,031,294	△ 0.7%	1,201,177,282	1,200,912,364	0.0%	
	△ 501			△ 23			△ 51,620			264,918			
日 進 市	92,774	92,291	0.5%	38,657	38,193	1.2%	9,521,099	9,485,842	0.4%	1,684,464,099	1,668,192,552	1.0%	
	483			464			35,257			16,271,547			
み よ し 市	61,202	61,220	△ 0.0%	25,098	24,837	1.1%	6,365,303	6,429,015	△ 1.0%	1,140,517,420	1,019,699,314	11.8%	
	△ 18			261			△ 63,712			120,818,106			
長 久 手 市	60,310	59,993	0.5%	24,979	24,709	1.1%	6,451,004	6,430,796	0.3%	1,179,590,522	1,170,416,766	0.8%	
	317			270			20,208			9,173,756			
東 郷 町	43,686	43,948	△ 0.6%	17,943	18,016	△ 0.4%	4,285,205	4,324,573	△ 0.9%	722,908,775	727,338,836	△ 0.6%	
	△ 262			△ 73			△ 39,368			△ 4,430,061			
合 計	326,253	326,234	0.0%	137,132	136,233	0.7%	33,602,285	33,701,520	△ 0.3%	5,928,658,098	5,786,559,832	2.5%	
	19			899			△ 99,235			142,098,266			

* 令和3年度の下段は、令和2年度に対する増・減数を示す。

(△は減を示す)

《収益的収支》

(2) 予算決算対比表(税込み)

※収益的収支(損益勘定)とは、1年間で水道水を供給して得た収入と供給に要した費用(支出)の内訳を表すものです。

※予算に対してどれだけの収入と支出があったかを比較するため、予算科目毎に掲載し、消費税込みとなっています。〔決算書P2～P3〕

(単位 円)

収入科目	予算額					決算額 B	予算に対して増減 B-A	執行率％ B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	財源充当額	計 A				
水道事業収益	7,685,983,000	0	0	0	7,685,983,000	7,818,164,587	132,181,587	101.7	
営業収益	6,744,001,000	0	0	0	6,744,001,000	6,769,224,619	25,223,619	100.4	
給水収益	6,493,098,000	0	0	0	6,493,098,000	6,521,167,024	28,069,024	100.4	水道料金収入(有収水量 33,602千m ³)のうち水道水源環境保全基金分 36,963千円
受託工事収益	803,000	0	0	0	803,000	0	△ 803,000	0.0	
その他営業収益	229,410,000	0	0	0	229,410,000	230,347,753	937,753	100.4	下水道使用料徴収事務負担金、給水工事に伴う設計事務費 18,349千円他
他会計負担金	20,690,000	0	0	0	20,690,000	17,709,842	△ 2,980,158	85.6	消火栓及び耐震性貯水槽の維持管理負担金 16,611千円他
営業外収益	919,307,000	0	0	0	919,307,000	922,616,269	3,309,269	100.4	
受取利息	3,245,000	0	0	0	3,245,000	3,245,020	20	100.0	資金運用に伴う有価証券利息他
長期前受金戻入	872,011,000	0	0	0	872,011,000	863,664,971	△ 8,346,029	99.0	長期前受金を財源として取得した資産の減価償却費見合い分の収益化額
雑収益	44,051,000	0	0	0	44,051,000	55,706,278	11,655,278	126.5	行政財産目的外使用料、水道サービス協会からの余剰金の返還他
特別利益	22,675,000	0	0	0	22,675,000	126,323,699	103,648,699	557.1	
固定資産売却益	0	0	0	0	0	103,686,100	103,686,100	－	旧東山第2配水場用地の売却に伴う売却益
その他特別利益	22,675,000	0	0	0	22,675,000	22,637,599	△ 37,401	99.8	退職給付引当金戻入益
支出科目	予算額					決算額 B	不用額 A-B	執行率％ B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	繰越額	計 A				
水道事業費用	6,531,450,000	0	0	0	6,531,450,000	6,445,789,604	85,660,396	98.7	
営業費用	6,477,880,000	0	△ 34,760,989	0	6,443,119,011	6,357,458,615	85,660,396	98.7	
原水及び浄水費	2,549,919,000	0	△ 13,398,432	0	2,536,520,568	2,511,235,232	25,285,336	99.0	県営水道の受水費 2,397,899千円、人件費 78,965千円他
配水及び給水費	1,051,991,000	0	△ 31,082,045	0	1,020,908,955	1,006,242,787	14,666,168	98.6	配水施設の維持修繕費 464,117千円、委託料 322,667千円、人件費 128,333千円他
受託工事費	803,000	0	0	0	803,000	0	803,000	0.0	
総係費	730,727,000	0	△ 5,007,589	0	725,719,411	695,694,499	30,024,912	95.9	人件費 322,439千円、委託料 273,657千円、庁舎等修繕費 18,375千円他
議会及び監査費	2,730,000	0	0	0	2,730,000	1,347,290	1,382,710	49.4	報酬 873千円他
水源地環境整備事業費	35,167,000	0	0	0	35,167,000	21,668,730	13,498,270	61.6	水源地森林整備助成金 17,464千円、木曾の水ボトル缶製作費 4,006千円他
減価償却費	1,914,204,000	0	△ 17,539,273	0	1,896,664,727	1,896,664,727	0	100.0	有形固定資産 1,891,502千円、無形固定資産 5,163千円
資産減耗費	192,339,000	0	32,266,350	0	224,605,350	224,605,350	0	100.0	配水管布設替工事等に伴う用途廃止資産の除却費他
営業外費用	53,388,000	0	34,401,433	0	87,789,433	87,789,433	0	100.0	
支払利息及び企業債取扱諸費	37,280,000	0	△ 918	0	37,279,082	37,279,082	0	100.0	企業債支払利息(財務省 25,267千円、地方公共団体金融機構 12,012千円)
雑支出	5,100,000	0	4,648,951	0	9,748,951	9,748,951	0	100.0	過年度分水道料金減免他
消費税及び地方消費税	11,008,000	0	29,753,400	0	40,761,400	40,761,400	0	100.0	仮受消費税 651,733千円、仮払消費税 610,972千円
特別損失	182,000	0	359,556	0	541,556	541,556	0	100.0	
過年度損益修正損	0	0	541,556	0	541,556	541,556	0	100.0	平成30年度水道料金の不納欠損に伴う貸倒引当金の不足額
その他特別損失	182,000	0	△ 182,000	0	0	0	0	－	

(△は減額を示す)

《資本的収支》

(3) 予算決算対比表(税込み)

※資本的収支(資本勘定)とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費(支出)と、その財源(収入)の内訳を表すものです。〔決算書P4～P5〕

(単位 円)

収入科目	予算額					決算額 B		予算に対して増減 B-A	執行率% B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	繰越にかかる 財源充当額	計 A					
企 業 債	300,000,000	0	0	0	300,000,000	300,000,000		0	100.0	配水設備改良事業の財源として借入れ
県 補 助 金	51,370,000	8,965,000	0	0	60,335,000	60,335,000		0	100.0	重要給水施設管路耐震化事業に対する県補助金
工 事 負 担 金	740,611,000	0	0	82,994,400	823,605,400	498,030,492		△ 325,574,908	60.5	区画整理事業等工事負担金 142,426千円、加入分担金 226,356千円他
固 定 資 産 売 却 代 金	299,000	0	0	0	299,000	44,257,532		43,958,532	14,801.9	旧東山第2配水場用地の売却に伴う帳簿価額
雑 収 入	0	0	0	0	0	388,000		388,000	－	クリーンエネルギー自動車導入促進補助金
資本的収入 計 ①	1,092,280,000	8,965,000	0	82,994,400	1,184,239,400	903,011,024		△ 281,228,376	76.3	
支出科目	予算額					決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	執行率% B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	繰 越 額	計 A					
建 設 改 良 費	4,061,686,000	0	0	372,676,386	4,434,362,386	3,602,638,318	170,949,790	660,774,278	81.2	
配 水 設 備 改 良 費	4,020,728,000	0	0	371,233,500	4,391,961,500	3,571,608,753	170,949,790	649,402,957	81.3	老朽管路更新事業 1,675,568千円、管路の耐震化事業 881,438千円他
固 定 資 産 購 入 費	40,958,000	0	0	1,442,886	42,400,886	31,029,565	0	11,371,321	73.2	水質検査機器更新 9,159千円他
企 業 債 償 還 金	289,711,000	0	0	0	289,711,000	289,710,468	0	532	100.0	償還金(財務省 196,446千円、地方公共団体金融機構 93,265千円) 【参考】令和3年度末における企業債の残高 1,536,259,305円
補 助 金 返 還 金	2,260,000	0	0	0	2,260,000	2,256,598	0	3,402	99.8	令和2年度県補助金消費税相当額の返還金
資本的支出 計 ②	4,353,657,000	0	0	372,676,386	4,726,333,386	3,894,605,384	170,949,790	660,778,212	82.4	
差 引 額 ①－②	△ 3,261,377,000	8,965,000	0	△ 289,681,986	△ 3,542,093,986	△ 2,991,594,360				(△は減額を示す)
補てん財源	3,261,377,000	△ 8,965,000	0	289,681,986	3,542,093,986	2,991,594,360				(単位 円)
当 年 度 分 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	263,675,000	0	0	0	263,675,000	251,165,175				
減 債 積 立 金	10,000,000	0	0	0	10,000,000	10,000,000				
建 設 改 良 積 立 金	185,000,000	0	0	0	185,000,000	185,000,000				
利益積立金(目的外使用)	0	72,000,000	0	0	72,000,000	72,000,000				
過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,631,316,000	0	0	0	1,631,316,000	1,942,443,409				
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,171,386,000	△ 80,965,000	0	289,681,986	1,380,102,986	530,985,776				

【参考】令和3年度末資金残高

科 目	令和3年度末 資 金 残 高	
減 債 積 立 金	19,000,000	企業債の元金償還に充てるため、積み立てた資金
建 設 改 良 積 立 金	354,076,081	建設・改良工事に充てるため、積み立てた資金
繰 越 利 益 剰 余 金 (水道水源環境保全基金を含む)	265,738,396	欠損金の補てん準備金として、処分されずに企業内部に留保された資金
当 年 度 純 利 益 (長期前受金戻入を除く)	254,988,559	議案として上程し、議決後に翌年度以降の事業に充てるため、減債積立金、建設改良積立金に積立
過年度分損益勘定留保資金	0	現金支出を伴わない減価償却費等に相当する額が、企業内部に留保された運 転資金
当年度分損益勘定留保資金	1,591,348,853	
計	2,485,151,889	

(4) 財務諸表4表

① 損益計算書(行政コスト計算書)〔決算書P6〕

(単位 円)

借 方 科 目	令和3年度	令和2年度	増減率
営 業 費 用	6,030,308,263	5,869,402,566	2.7%
職員給与費	529,241,265	544,750,339	△ 2.8%
動力費・薬品費	36,952,330	35,229,253	4.9%
修繕費	448,429,146	381,542,928	17.5%
県営水道等受水費	2,182,296,085	2,186,248,784	△ 0.2%
委託料	550,229,877	581,063,119	△ 5.3%
水源地環境整備事業費	19,698,851	17,848,456	10.4%
減価償却費・資産減耗費	2,120,728,677	1,979,517,250	7.1%
その他営業費用	142,732,032	143,202,437	△ 0.3%
営 業 外 費 用	54,830,387	54,020,350	1.5%
支払利息及び企業債取扱諸費	37,279,082	47,724,518	△ 21.9%
雑支出	17,551,305	6,295,832	178.8%
特 別 損 失	541,556	92,459	485.7%
過年度損益修正損	541,556	92,459	485.7%
費 用 合 計 (B)	6,085,680,206	5,923,515,375	2.7%
当 年 度 純 利 益 (A-B)	1,118,653,530	1,239,656,519	△ 9.8%

貸 方 科 目	令和3年度	令和2年度	増減率
営 業 収 益	6,156,624,513	6,067,651,890	1.5%
水道使用料	5,895,055,813	5,752,858,312	2.5%
水源環境保全基金収入	33,602,285	33,701,520	△ 0.3%
その他営業収益	210,256,573	261,961,197	△ 19.7%
他会計負担金	17,709,842	19,130,861	△ 7.4%
営 業 外 収 益	921,385,524	1,080,826,026	△ 14.8%
受取利息	3,245,020	3,262,222	△ 0.5%
他会計補助金	0	130,339,710	皆減
長期前受金戻入	※3 863,664,971	853,446,026	1.2%
雑収益	54,475,533	93,778,068	△ 41.9%
特 別 利 益	126,323,699	14,693,978	759.7%
固定資産売却益	103,686,100	0	皆増
その他特別利益	22,637,599	14,693,978	54.1%
収 益 合 計 (A)	7,204,333,736	7,163,171,894	0.6%

《参考》

主な増減…水道使用料の増加	142,197,501円
他会計補助金の減少	△130,339,710円
固定資産売却益の増加	103,686,100円
減価償却費・資産減耗費の増加	141,211,427円
修繕費の増加	66,886,218円

(単位 円)

② 剰余金計算書(純資産変動計算書)〔決算書P8～P10〕

科 目	前年度末残高	当年度変動額			当年度末残高	決算処分(議案)	処分後残高
		前年度決算処分に 伴う振替	積立金の取崩しに 伴う振替	当年度純利益			
資 本 金	28,574,989,463	1,121,446,026	0	0	29,696,435,489	1,130,664,971	30,827,100,460
剰 余 金	2,242,623,154	△ 1,121,446,026	0	1,118,653,530	2,239,830,658	△ 1,130,664,971	1,109,165,687
資本剰余金	215,362,651	0	0	0	215,362,651	0	215,362,651
利益剰余金	2,027,260,503	△ 1,121,446,026	0	1,118,653,530	2,024,468,007	※1 △ 1,130,664,971	893,803,036
減債積立金	10,000,000	19,000,000	△ 10,000,000	0	19,000,000	13,000,000	32,000,000
利益積立金	72,000,000	0	△ 72,000,000	0	0	0	0
建設改良積立金	185,000,000	354,076,081	△ 185,000,000	0	354,076,081	227,935,125	582,011,206
未処分利益剰余金	1,760,260,503	△ 1,494,522,107	※2 267,000,000	1,118,653,530	1,651,391,926	△ 1,371,600,096	279,791,830
資本(純資産)合計	30,817,612,617	0	0	1,118,653,530	31,936,266,147	0	31,936,266,147

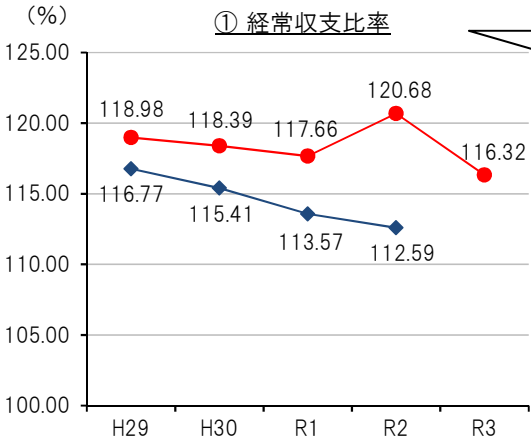
※1 資本金への組入額 1,130,664,971円の内訳は、※2 積立金取崩しに伴う振替額 267,000,000円、※3 当年度純利益のうち長期前受金戻入額 863,664,971円となります。

【公営企業に係る主な経営指標】

〔決算書P17〕

(数値は総務省実施の「経営比較分析表」を引用)

● 企業団
◆ 類似団体平均

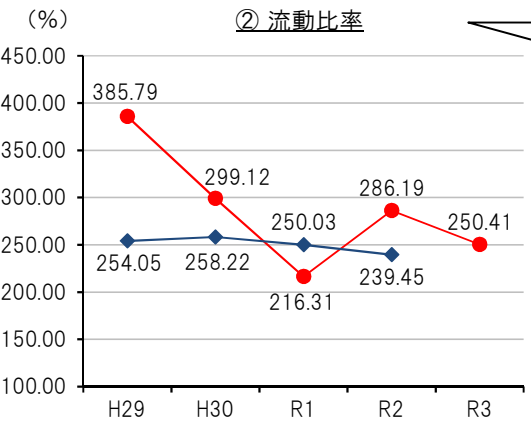


★解説★

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを表す指標で、数値が高いほど収益性が高いことを意味します。

☆企業団分析☆

数値は100%を上回って推移しており、類似団体と比較しても高く推移しているため、良好な経営状態といえますが、令和3年度は営業費用が増加したため、数値が低下しました。

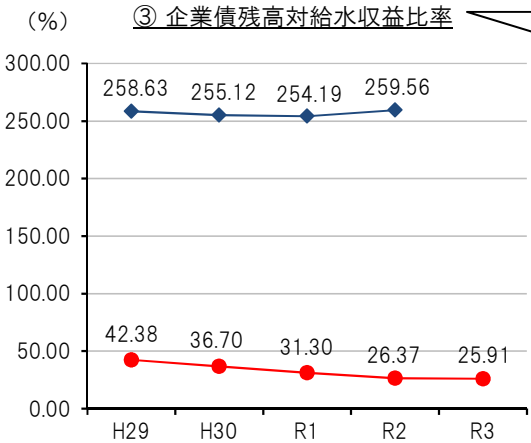


★解説★

短期的な債務に対してどの程度支払能力があるかを表す指標で、数値は100%以上である必要があります。

☆企業団分析☆

数値は100%を上回って推移しており、支払うべき債務に対して支払可能な現金等がある状況といえますが、令和3年度は工事費等未払金が増加したため、数値が低下しました。

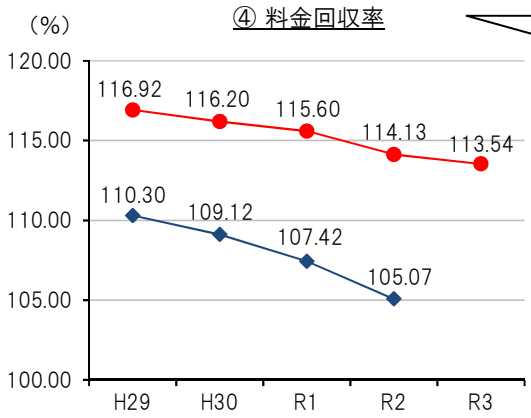


★解説★

給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標で、数値が高いほど企業債未償還残高が過大であることを意味します。

☆企業団分析☆

数値は類似団体平均と比較して低く推移していますが、今後、水道施設整備事業の財源として企業債借入額が増加した場合、数値は上昇することが予測されます。



★解説★

給水に係る費用がどの程度水道料金で賄えているかを表す指標で、100%を下回っている場合、給水に係る費用が水道料金以外の収入で賄われていることを意味します。

☆企業団分析☆

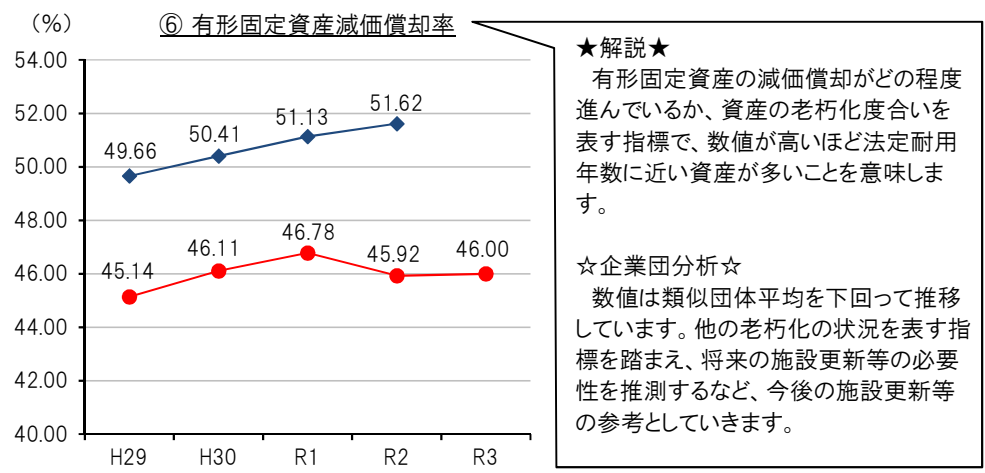
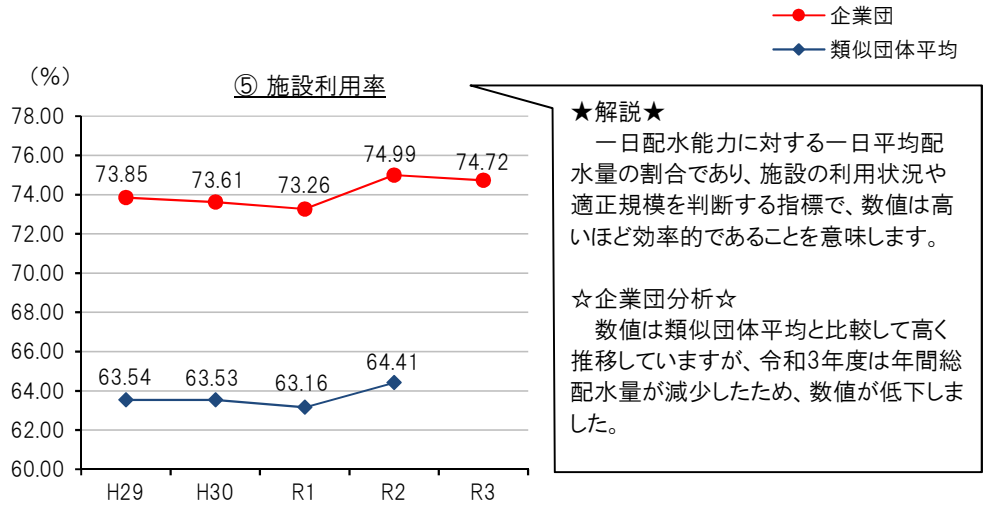
数値は100%を上回って推移していますが、令和3年度は営業費用が増加したため、数値が低下しました。

③ 貸借対照表(バランスシート) 〔決算書P11～P13〕

借方科目	令和3年度	令和2年度	増減率
固定資産	51,799,128,573	50,563,141,186	2.4%
有形固定資産	51,282,731,017	50,044,580,646	2.5%
土地・建物	2,413,077,717	2,439,945,866	△ 1.1%
構築物(水道管等)	46,426,707,266	45,212,220,969	2.7%
機械及び装置	1,347,413,262	1,063,932,212	26.6%
車両運搬具	28,639,299	32,089,239	△ 10.8%
工具器具及び備品	144,866,531	155,808,082	△ 7.0%
建設仮勘定(建設中の資産)	922,026,942	1,140,584,278	△ 19.2%
無形固定資産	16,397,556	18,560,540	△ 11.7%
投資(投資有価証券)	500,000,000	500,000,000	0.0%
流動資産	4,480,298,187	4,601,150,361	△ 2.6%
現金・預金	3,635,123,073	3,818,065,909	△ 4.8%
未収金(未収水道料金等)	508,249,283	414,129,664	22.7%
貯蔵品(貯蔵量水器等)	44,122,386	44,997,266	△ 1.9%
その他	13,011,615	58,219,126	△ 77.7%
水道水源環境保全基金	279,791,830	265,738,396	5.3%
資産合計	56,279,426,760	55,164,291,547	2.0%

貸方科目	令和3年度	令和2年度	増減率
固定負債	2,266,948,053	2,198,117,120	3.1%
企業債	1,277,727,837	1,236,259,305	3.4%
引当金	989,220,216	961,857,815	2.8%
流動負債	1,789,208,550	1,607,714,128	11.3%
企業債(翌年度償還分)	258,531,468	289,710,468	△ 10.8%
未払金(未払工事費等)	1,135,476,184	868,570,447	30.7%
預り金(下水道料金等)	291,086,913	299,566,932	△ 2.8%
その他	104,113,985	149,866,281	△ 30.5%
繰延収益	20,287,004,010	20,540,847,682	△ 1.2%
長期前受金	20,287,004,010	20,540,847,682	△ 1.2%
国庫補助金・県補助金	1,133,197,091	1,112,113,542	1.9%
その他	19,153,806,919	19,428,734,140	△ 1.4%
負債合計	24,343,160,613	24,346,678,930	△ 0.0%
資本金	29,696,435,489	28,574,989,463	3.9%
剰余金	2,239,830,658	2,242,623,154	△ 0.1%
資本(純資産)合計	31,936,266,147	30,817,612,617	3.6%
負債・資本合計	56,279,426,760	55,164,291,547	2.0%

(単位 円)



④ キャッシュ・フロー計算書(資金収支計算書) 〔決算書P29～P30〕

(単位 円)

科目	金額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	2,138,758,451 (+)
当年度純利益	1,118,653,530
非資金損益項目(減価償却費等)	1,251,649,706
未収金及び未払金等の精算	△ 217,491,351
水道水源環境保全基金の増減	△ 14,053,434
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,331,990,819 (-)
資産の増加	△ 3,158,871,587
補助金、工事負担金の収入	518,805,194
未収金及び未払金等の精算	308,075,574
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	10,289,532 (+)
企業債の償還及び借入	10,289,532
当年度資金の増減	△ 182,942,836
資金の期首残高	3,818,065,909
当年度資金の増減	△ 182,942,836
資金の期末残高	3,635,123,073

《参考》

主な増減…構築物(水道管等)の増加	1,214,486,297円
機械及び装置の増加	283,481,050円
建設仮勘定(建設中の資産)の減少	△218,557,336円
未払金(未払工事費等)の増加	266,905,737円
長期前受金の減少	△253,843,672円
資本金の増加	1,121,466,026円

【キャッシュ・フロー計算書による経営状況】

キャッシュ・フロー			経営状況の解説
業務活動 (水道事業は通常プラス)	投資活動 (水道事業は通常マイナス)	財務活動	
+	-	+	営業活動が順調で投資活動を積極的に行っていますが、投資活動の財源不足分を企業債等借入により補っています。

